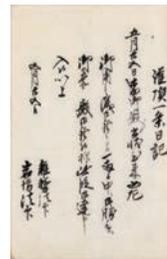
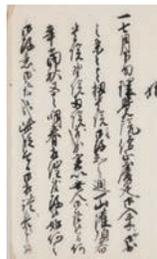


1 道尊親王 御灌頂雜記

華臺院權僧正宥寛 元禄十二年 23丁 円満院旧蔵 停雲居蔵印 虫損

1冊 132,000円



4 灌頂諸入用控帳

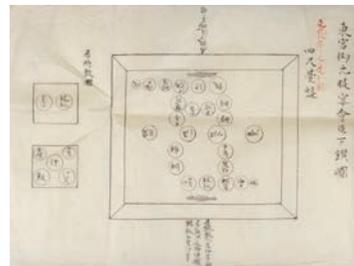
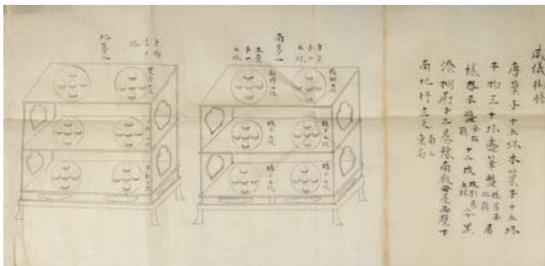
安政四年 37丁
 円満院旧蔵 停雲居蔵印 虫損
 1冊 33,000円

3 灌頂催日記

権僧正道暹 安政三年 19丁
 円満院旧蔵 停雲居蔵印 虫損
 1冊 33,000円

2 (内題) 灌頂一条日記

道暹 安政二年 28丁 (うち3丁
 空白、15丁「記録抜書」)
 円満院旧蔵 停雲居蔵印 虫損
 1冊 33,000円



5 東宮御元服宴会図

文化九年 「東宮御元服宴会臣下饌図」「威儀御膳」「屯食立様」
 「中取案六脚并折櫃六拾合内屯食一具図」ほか

9紙 55,000円



6 水干之事

「貞春考」とあり (伊勢貞春か) 28.5×175糎 虫損

1巻 55,000円



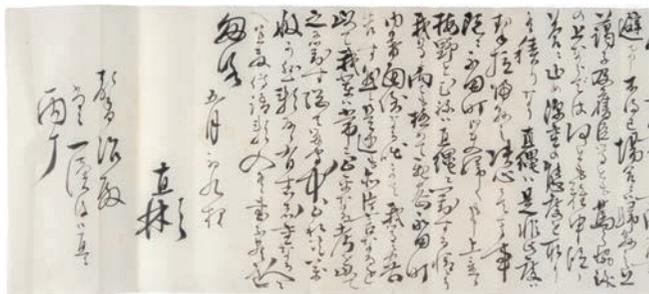
7 秋山光條ほか秋山家旧蔵資料

出雲大社・三島大社など各地の神社の宮司を務めた国学者、秋山光條（てるえ）の自筆稿本・資料。江戸奉行同心であった父・和光、美術史家の子・光夫など秋山家の人物の写本を含む。

日記「八雲道記」（93丁・明治8～11年）、「明治十二年日記」（96丁・明治12年）、草稿「国郡読例」（20丁・明治4年）、「童子經 一名みちのしるへ」（8丁・明治6年）、詠草「雪廬屋詠草」（80丁）、「にはさくら」（54丁）、その他雑記帳、蔵書目録、公的書類の綴りなど。光條宛の書簡は水野忠敬・千家尊福からの他、封筒がなく未整理の状態のものが多数ある。

その他秋山家の資料としては、秋山和光「詠草」（46丁）、秋山光夫「有栖川家宝調」（70丁・大正13年）、文化年間の詠草など。リストお問い合わせください。

50点 880,000円



8 銅島直彬書簡 田中馨治宛

銅島直彬は肥前鹿島藩主、初代沖繩県令。田中馨治は肥前鹿島藩主。田中は直彬に付き従って沖繩に渡り、直彬が県令を辞した後も沖繩に留まり、沖繩県学務課長や師範学校長を務めた。差出年の記載なし。

21通 330,000円



10 宗徳寺記録
 印旛郡白井台宗徳寺 9丁
 奥書「明治四十二年写八代國治」
 1冊 16,500円

9 法皇様御料 政所大雲寺分辰之御年貢之事
 法皇様御料 大雲寺分五年分御勘定帳
 享保九年・享保十六年 4丁・10丁 共に「高嶺文庫」印
 「御年貢之事」に奥書「大正九年実相院蔵本謄写 八代國治識」
 2冊 33,000円



12 勅版日本書紀
 昭和3年 酒井宇吉献呈署名入
 一誠堂創業二十五周年記念出版
 限定300部内147号
 1冊 22,000円

11 千葉古系図・椿湖開鑿由来覚書 合本
 25丁 「高嶺文庫」印
 奥書「明治三十三年 香取郡東城村にて写 南牌子」
 1冊 33,000円



14 府社東照宮（上野東照宮）資料
 賽銭や神饌・幣帛料など収入の推移や神職の俸給など、東照宮の会計に関する資料。大正11年～昭和14年のうち欠けている年あり。「収入簿」15冊、「支出簿」8冊、「出納簿」4冊、「支出金領収書綴」36冊、「現金売掛売上簿」1冊。
 64冊 88,000円



13 報徳社関係文庫・資料
 「三才報徳現量鏡」、「報徳社通則」、「勸農俵集」、「大日本報徳学友会報」、「報徳善種金永安証券」ほか。「貸金台帳」、「受賞者姓名簿」等北周報徳社資料含む。リストお問い合わせください。
 33点 49,500円



15 小川泰堂旧蔵資料

小川泰堂（1814～1878）は藤沢の医師。江戸で開業中に日蓮宗に帰依し、日蓮の遺文を校訂・編纂した『高祖遺文録』や伝記『日蓮大士真実伝』を著した。泰堂の遺品は池上本門寺にて献納されたが、本品は小川家に遺されていたもの。「十八日紀行」（57丁）、「鎌倉忍仲稿」（49丁）など藤沢の地誌に関する写本、「処方手記」（62丁）など医業に関する写本のほか、筆及び矢立、袴など泰堂の遺品を含む。リストお問い合わせください。 16点 165,000円



「詩仏泰堂両翁追憶記念会」資料
「詩仏泰堂両翁追憶記念会」は昭和13年に田中智学主催で開催された、小川泰堂とその義父にあたる大窪詩仏を顕彰する記念会。開催にあたっては泰堂の孫・小川雪夫が奔走、一大イベントを成功させた。
田中智学から雪夫宛書簡、芳名帳、追善書画会出品掛軸、ポスター、「大窪詩仏小川泰堂墓史蹟指定申請書」、小川泰堂に関する資料・草稿類など、段ボール三箱分の分量（ただし小川雪夫旧蔵資料を含む。全体的に未整理の状態）。 三三、〇〇円



18 中里日勝自筆漢詩稿本

中里日勝は赤坂・圓通寺住職。愛敬女学校・図書館日勝文庫を設立した。
①「禪餘綺語」（61丁）、②「弊帚稿 卷第二」（49丁）、③「弊帚稿 卷之三」（49丁）、④「弊帚集 五」（10丁）
明治34年～昭和15年 4冊 33,000円



17 田中智学資料 鷲塚清次郎・潤一郎旧蔵

田中智学を中心とする国柱会関連の書簡・色紙・資料等、段ボール一箱分の分量。田中智学より鷲塚清次郎・潤一郎他宛の書簡7通、智学色紙9枚、智学・鱧崎英朋・山村耕花等が描く扇型の書画帖ほか。
鷲塚清次郎は東京・京橋の高級筆筒店の店主で、智学より「国柱会創業の殊勲者」と称えられた古参の支援者。明治34年に智学が鎌倉の日蓮上人辻説法跡を復興した際に、清次郎がかかる費用を全て拠出した。 55,000円



20 榮田猛猪来翰

封書31通・葉書28通 昭和20年代
 榮田猛猪は『大字典』編者。東京帝国大学で
 上田萬年に学び、のち東京外国語大学教授や
 上智大学予科長などを務めた。鹽谷温4通、
 三宅川百太郎2通ほか。

59通 33,000円



19 徳富蘇峰書簡 佐藤信宛

徳富蘇峰封書20通・葉書27通（代筆と思われるもの含む）
 徳富孝子封書11通・葉書3通 徳富静子封書16通・葉書9通
 塩崎彦市封書4通・葉書2通 中島司封書4通・葉書10通
 その他38通 戦前～
 佐藤信は水戸在住の漢詩人。徳富蘇峰記念館に佐藤信から蘇峰
 宛書簡109通が残されている。 約140通 110,000円



22 建仁寺管長竹田黙雷書簡

籠手田龍宛1通・吉田剛宛8通 大正2～9年
 籠手田龍は男爵・籠手田安定の子息。吉田剛
 は安定夫人・吉田琴子の生家を継いだ人物。

9通 33,000円



21 仲小路廉書簡 小林吉右衛門宛

明治～大正頃
 仲小路廉は通信次官、農商務大臣、貴族院議員を務めた官僚・政
 治家。小林吉右衛門の名前は「仲小路廉関係文書」の中にその名
 前が見える（神戸の実業家か）。 9通 33,000円



24 薬師寺管主橋本凝胤来翰

封書63通・「薬師寺」宛37通 戦前～
 日本各地の寺社関係者中心。岡百世2通ほか。
 約100通 88,000円



23 土井虎賀寿・杉野書簡 東大寺別当上司海雲宛

封書59通・葉書63通 戦前～昭和49年頃
 土井は昭和29年、上司から大仏開眼千二百年記念事業として
 「大方広仏華嚴經」の独語訳を委嘱され、十数年の歳月をかけて
 これを完成させた。書簡では翻訳にまつわる生々しいやり取り
 が残されている。 122通 110,000円



25 英国王太子プリンス・オブ・ウェールズ来日写真

大正11年4月に英国王太子プリンス・オブ・ウェールズ（後のエドワード8世）が来日した際の旅程を撮影した紙焼き写真135枚。船上での記念写真、新宿御苑での観桜会、浜離宮での鴨狩り、王太子在京中に発生した帝国ホテルの火事、裕仁皇太子とのゴルフ、奈良行脚、厳島観光、鹿児島港出港の様子など。公刊された王太子の来日を伝える写真帖に未掲載のカット多数。

参謀本部欧米課英国班長を務め、王太子の接待員を命じられた陸軍軍人・角田政之助旧蔵。英文来日日程表など角田旧蔵資料を付す。

135枚 330,000円



26 玄々堂・岡田春燈齋ほか 小型銅版画コレクション

初代玄々堂・松本保居20点、二代玄々堂・松田緑山41点、三代玄々堂・松田龍山10点、岡田春燈齋39点

春泉亭・橋本澄月5点、中村文山3点、若林長英1点、その他3点 一部傷み・少虫損

122点 220,000円



28 和洋菓子製法講習録 続編

松田咲太郎 続編和洋菓子製法講習録発行所

大正9年再版 102頁 木版菓子図34図

外装及び題箋痛み 少汚れ 1冊 44,000円

27 和洋菓子製法講習録 第一輯

松田咲太郎 田中久次郎・永田七五郎 大正5年

128頁 木版菓子図6図 表裏見返し少破れ

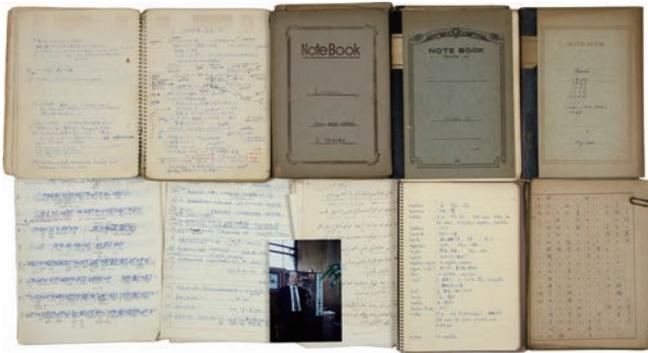
外装痛み 後半頁余白下部少しみ 1冊 33,000円



29 加藤澄子筆 昭和10年代茶会記録

加藤澄子は俳人・数奇人として知られた東京帝国大学教授加藤正治（厚水）夫人。澄子は夫正治に連れ立って、松永安左衛門、藤原銀次郎、團伊能らの茶会に参加。その様子を愛らしいイラストと共に記録に残した。当代きっての茶人たちの茶会の様子が女性参加者の目線から描かれる、非常に貴重な記録である。旅行記や茶室のデッサンのみなど茶会記以外の内容も数点あり。

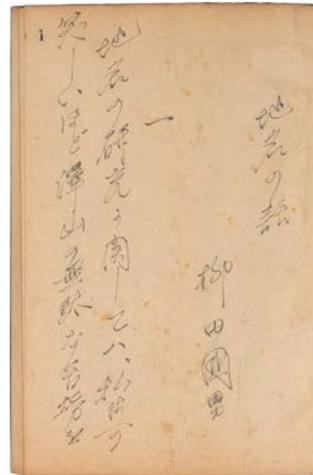
75点 330,000円



31 オリент学・言語学者 矢島文夫旧蔵資料

『ギルガメシュ叙事詩』翻訳の際の楔形文字解読ノートや資料のコピー、学生時代の語学学習帳、1960年代に日々の思索や旅行記をしたためたノート30冊など段ボール二箱分の分量。詳細お問い合わせください。

88,000円



三 柳田國男草稿「地名の話」
ペン字百二十一枚 和装製本 山口貞夫蔵書印
『地理学評論』八巻五号初出（昭和七年）
『地名の研究』所載 一冊 七五,000円



三 外山滋比古草稿・旧蔵資料
ベストセラー『思考の整理学』で知られる英文学者・外山滋比古の旧蔵品、段ボール箱4個分の分量。1960年代までのものが多くを占める。
「修辭的残像」「伝達のグラマー」「近代読者論」ほか草稿70点以上。師・福原麟太郎の講義録などノート35冊（妻・弥生のノートも多数含む）。福原麟太郎・吉川幸次郎・中村雄二郎等外山宛書簡、その他色紙、写真プリント等、全体的に未整理の状態。詳細お問い合わせください。
五五,000円

三、九	長谷川伸旧蔵書 印・ラベルあり								
三	箱館戦争と大野藩	高島正 私立図書館高島文庫 大正七年	一冊	三、〇〇〇					
三	大館戊辰戦史 附沿革史	笹嶋定治編 藤嶋書店 本体のみ 正誤表付き 大正七年	一冊	三、〇〇〇					
三	幕末勤王 天誅組烈士戦誌	梶谷信平 清水一心堂 大正九年 本体のみ	一冊	三、〇〇〇					
三	忠孝節義 相馬大作	亀井栄 中近堂 明治二十五年	一冊	六、五〇〇					
三	龍蟠鳳迎	野口勝一 高知堂 明治二十八年 少痛	一冊	三、〇〇〇					
三	陣幕久五郎通高事跡		一冊	三、二〇〇					
三	太田 天 亮	明治三四年 少痛破れ	一冊	三、二〇〇					
三	二十 三 士	中野浩氣 明治四〇年	一冊	三、〇〇〇					
四	御 祭 草	西村捨三口述 大林帳簿製造所 明治四一年	一冊	三、〇〇〇					
四	南部廣茅翁 伝記及紀行	大正三年 綴紐切れ・綴じ緩し	一冊	三、〇〇〇					
四	憲政国太平民 杉田鶴山	中村江畔 名村忠治 大正五年 背少痛・シル補修	一冊	二、〇〇〇					
四	龜 山 鈔	森千蔵 亀山鈔編纂所 大正五年	一冊	二、〇〇〇					
四	浅野史蹟顕彰小史	浅野史蹟顕彰会 大正七年 表紙少すれ	一冊	三、二〇〇					
四	久世 喜 弘 翁	渡邊勝 久世勇三 大正九年 綴じ紐欠	一冊	二、〇〇〇					
四	牧 野 家 譜	上下 長岡史料刊行会 大正一〇・一一年 長岡史料第壹・貳輯	二冊	三、〇〇〇					
四	源平生田合戦	福原潜次郎 芹澤大次郎 大正十二年	一冊	三、〇〇〇					
四	河原兄弟忠死の事績		一冊	三、〇〇〇					
四	新 納 旅 庵 伝	新納教義 昭和四年 少痛	一冊	六、五〇〇					
四	下斗米大作実伝	下斗米與八郎 下斗米耕造 大正十一年 背少痛・テープ補修 表紙汚れ	一冊	六、五〇〇					
五	小野湖山翁小伝	豊橋市教育会 昭和六年 背少痛・テープ補修	一冊	三、二〇〇					
五	母上の三年祭を迎へて	西郷從徳編 昭和六年 西郷清子	一冊	六、五〇〇					
五	逸事余談 野村訥齋	大野和平 昭和九年 表紙ラベル・書き込み	一冊	三、〇〇〇					
五	中川淳庵先生事蹟	和田信二郎 中川淳庵先生百五十年記念会 昭和十一年 少痛 背テープ補修	一冊	二、〇〇〇					
五	烏 洲 先生 遺 稿	烏洲会上毛郷土史研究会 昭和十五年 綴じ紐切れ 筒袋付き 金井烏洲	一冊	三、〇〇〇					
五	雷電爲右衛門略年譜	信濃教育会小縣上田部会 昭和五年	一冊	八、八〇〇					
五	長木 郷土 読本	達子勝蔵編 長木小学校 昭和十二年 シミ・ヤケ	一冊	二、〇〇〇					
五	祖父可部安都志	可部保富 昭和八年 蔵印 裏表紙書込	一冊	一六、五〇〇					
五	太田 金山の沿革	中澤六合 日本郷土社 大正十三年 金山文庫第二編	一冊	一三、二〇〇					
五	北 総 詩 誌	清宮秀堅 清宮利右衛門 明治二十二年再販	一冊	一三、二〇〇					
六	郷 土 誌	埼玉県深谷町郷土誌編纂会 昭和四年 背少痛	一冊	一六、五〇〇					
六	羽 生 町 誌	柳八重 羽生町役場・羽生商工会 昭和九年	一冊	一三、二〇〇					
六	越 佐 叢 書	樋口源吉 樋口書店 明治二十八年 一名曇る空血潮の鱗 朱線引き 最終頁落書き	一冊	二、〇〇〇					
六	新 撰 高 遠 誌	長坂照 矢島書店 明治三十七年	一冊	二、〇〇〇					
六	東蒲原郡史蹟誌	東蒲原郡教育会 昭和三年	一冊	二、〇〇〇					
六	丹 南 叢 話	栗林貞清 北川至宝堂 明治三〇年 背テープ補修	一冊	一六、五〇〇					
六	濃 北宝曆義民録	三島栄太郎 明治四十四年	一冊	三、〇〇〇					
六	京 極 沿革 史	京報社 昭和七年	一冊	三、〇〇〇					
六	大和先賢の顯彰 上田角之進	池田末則 吉井古宛館 昭和十六年 裏表紙少破れ	一冊	二、〇〇〇					
六	大和河内国境問題の沿革		一冊	二、〇〇〇					
六	丹 波 山 国 隊 誌	永井登編 元山国隊長辻啓太郎封書一通付	一冊	三、〇〇〇					
七	名所旧跡 岩屋誌	伊達隆辨 明治二十七年	二冊	三、〇〇〇					
七	伊予 西条藩史・小松藩史	秋山英一 伊予史籍刊行会 昭和六年 裏表紙記名	一冊	一三、二〇〇					
七	倉敷浅尾騒動史	渡辺頼母 大正八年 余白及び裏表紙書き込み 少痛	一冊	二、〇〇〇					
七	温泉津町町史概説	温泉津町尋常高等小学校 昭和十一年 外装痛	一冊	一六、五〇〇					
七	島 原 人 物 誌	長崎県教育会南高来郡部会 明治四十二年 背少痛・テープ補修	一冊	三、〇〇〇					
七	対馬外寇史料	私立金城巖編 明治二十八年 痛み大	一冊	三、〇〇〇					
七	う ろ く づ	坪野房治述 新東京社 昭和十一年	一冊	一六、五〇〇					
七	鄭森偉伝 明清軍談	高崎修助 明治十八年 背痛大	一冊	一六、五〇〇					
七	清仏戦争記抜萃 第壹巻	ジック・ド・ロンレイ著 小沢諭郎訳 兵林館 明治二十五年 少痛	一冊	二、〇〇〇					
七	陣 中 日 記	遅塚麗水 春陽堂 明治二十七年	一冊	三、〇〇〇					